

# Bibliophiles

## ビブリアファイルズ No.4(2020年度)

新着図書案内・お知らせ 西宮東高校図書館

(ここで紹介するのは新しい本の一部です。)



### 『義男の空』 エアーダイブ

全国でも10しか施設がない、小児脳外科の病院。そのうちのひとつで、今も現役医師として活躍している高橋義男氏がこの漫画の主人公です。この作品が生まれたきっかけは、作者が自身の子どもの病気のことで、わらにもすがる想いで高橋氏の診察を受けに行った体験でした。内心パニック状態だった漫画家は、診察室の壁に患者さんとおぼしき子どもたちの写真が一面に貼られているのを見て、「この人はともに戦ってくれる。」と元気をもらえたそうです。「子どもが社会に出て、社会で生きていく力をつけてはじめて、私にとっての治療は終わる」(高橋義男)

### 『地上最強の男:世界ヘビー級チャンピオン列伝』 百田尚樹

人気作家の百田氏が「ボクシング」というテーマに取り組んだ、ノンフィクションの力作です。

ボクシングという競技がどのように誕生したか、という話からはじめ、著名な歴代チャンピオンたちの生き様を浮き彫りにしていきます。特に、対戦相手だけではなく「黒人差別」という社会の悪に対しても果敢に戦ったモハメド・アリの物語は、とても感動的です。

### 英語版『鬼滅の刃』、入りました！

英語タイトルは DEMON SLAYER、すなわち「鬼の殺し屋」の1巻と2巻です。一度『鬼滅』を読んだ人なら、比較的事ラストラと英語が頭に入ってくるはずで、英語学習には漫画は効果的なので、ぜひ一度お試し下さい。「英語だから難しい」とは限らず、『鬼滅』は文語が多く使われているので、かえって英語の方が易しい表現になってる所があります。例えば、1巻の「生殺与奪(せいさつよだつ)の権を他人に握らせるな！」は“Never leave yourself so defenseless in front of an enemy!”(敵の前でそんなに無防備に自分をさらけ出すな!) いかがですか？

### 『ゲーム業界で働く』(なるには Books) 小杉真紀、山田幸彦

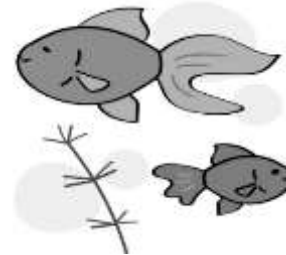
ゲームが好きであったとしても、ゲームを仕事にするなんて考えたことがない人が多いのでは。ひとくちに「ゲームの仕事」と言っても、プログラマーやシナリオライター、作曲家など多岐に渡ります。この本はゲーム業界で働いている人のナマの声を多く載せていますし、気になる年収や残業時間などリアルな仕事の実態も書いています。VR や e スポーツなどの新しいゲームも紹介していますよ。

### 『香港危機の深層 「逃亡犯条例」改正問題と「一国二制度」のゆくえ』 倉田徹・明子(編)

香港が大変なことになっています。7月1日の産経新聞は、「香港は死んだ」という見出しで、しかも黒い紙面の上に白い字という「死」を思わせる演出で香港の悲劇を伝えました。それは中国が新しい法律を作り、香港では中国政府への反体制活動を取り締まれるようになったからです。中国と香港との「一国二制度」が事実上、崩壊した瞬間でした。この本は、さまざまな識者が香港の政治や、今日に至るまでの香港のデモ活動について詳しく解説してくれます。3年生は、入試の小論文や面接等の対策にもぜひどうぞ。

### 『悪魔の飽食』シリーズ 森村誠一

旧日本軍の「731部隊」を世に知らしめた、ノンフィクションの有名作です。満州に拠点を置き、細菌兵器などの開発のために非人道的な人体実験を繰り返していた日本軍。そのあまりに凄惨な内容から「これはフィクションじゃないの？」という声も一部にあるようですが、真偽のほどは各自が読んでご判断下さい。



### 読書感想文コンクールに希望者は応募できます！

本は自由図書と課題図書のどちらでも応募できますが、課題図書は3冊とも図書館にあります。字数は2千字以内で、提出期限は8/27(木)、図書館まで。

夏休み中の開館: 8/3(月)~8/7(金)

9:00~13:00

長期貸出実施中。返却は8/24(月)。

### 『廉太郎ノオト』 谷津矢車

「鳩ぽっぽ」「お正月」「荒城の月」など、日本人なら誰でも知っている歌をたくさん作曲した、滝廉太郎。留学の難しかった時代に夢をふくらませてドイツに留学したものの、半年後に肺結核を発症。翌年には帰国し、その翌年に23歳の若さで無念の死をとげています。そんな彼の遺作のピアノ曲はその名も『憾(うらみ)』。彼はどんな「うらみ」をこの曲に込めたのか、時代小説作家の旗手・谷津が新しい解釈で描き出します。なお、この本は、読書感想文コンクールの課題図書にもなっています。

### 大人気の「宇宙一わかりやすい」シリーズ、3冊入りました！(化学2種類と生物)

左ページに覚えるべきことがらの説明を書き、それを右ページで図解で易しく解説する、という独自のスタイルの参考書です。例えば左ページで「フッ素 F<sub>2</sub> は最も酸化力が強い。」「フッ素は最も電子を盗む能力の高い怪盗だ！」と記し、右ページでは怪盗ルパン風のフッ素のキャラが「おたずね者 wanted」として描かれています。

### 今号のひとこと

初心忘るべからず。

### 世阿弥(ぜあみ 1363頃—1443頃)

日本最古の演劇論『風姿花伝』などに見られる言葉です。能楽の完成者である世阿弥の哲学を示したものですが、辞書などを引きますと、この言葉は普通「始めのころの謙虚で真剣な気持ちを忘れてはならない。」などと解釈されていますね。でも、『風姿花伝』を読めばすぐに分かるんですが、世阿弥はそんな意味では言っていません。ここで言う「初心」とは「未熟である」というぐらいの意味です。「どんなに年齢や経験を重ねても、能楽には終わりがなく、人は死ぬまで未熟である。自分が未熟であることを決して忘れずに、いつまでも上を目指しなさい」・・・そんな戒めと激励の言葉ですね。